



石巻東ロータリークラブ

- ◆国際ロータリーのテーマ：ロータリーのマジック
- ◆国際ロータリー会長：ステファニー A. アーチック
- ◆国際ロータリー第2520地区ガバナー：佐藤 剛



会長：佐々木 至 会長エレクト：中川尚仙 幹事：松本俊彦 S.A.A：相沢剛

第2952回例会告示板 2025年1月10日

出席会員 41名中／30名 73.17%

欠席会員 11名

前回出席率 (12/20) 80.49%

前々回出席率 (12/14) 95.12%

ゲスト 米山記念奨学生 劉 昊朋さん

会員誕生日 1/28 山本会員

出席 100%表彰 22年 阿部(俊)、9年 木村(研)、
6年 木村(信)、5年 松本各会員

ニコニコBOX 山本光二郎委員長

相澤、阿部(俊)、太田、大槻、大橋、木村(研)、木村(信)、久我、後藤、齊藤(利)、佐々木(孝)、佐々木(至)、佐藤(禎)、島、鈴木(忠)、鈴木(紀)、高橋(政)、千葉(義)、角田、徳増、中川、二宮、藤原、松永、松本、柳橋、山下、山内、山本各会員

会長挨拶 佐々木 至会長

今日は、下期に向けての会長・幹事私たちのスピーチがあります。上期を卒なく終えることが出来たのも皆様にご協力いただいたからだと思います。

後程下期に向けての会長幹事のスピーチを致しますのでよろしくお願ひいたします。



本日のプログラム 「下期に向けて」 会長・幹事
松本俊彦幹事

新年度7月からスタートして上期を無事万端なく終えることが出来ました。又、幹事という大役を受けわからない事だらけでしたが学びの上期でもありました。

今後は上期で予算を調整しながら執り行うことが出来ました。下期も予算調整をしてもらいつつ、今後の予算の在り方や委員会の在り方を学びたいと思います。

佐々木至会長

上期を振り返り新入会員3名をお迎え、退会メンバーが1名と会員数が増えてはおります。

7月から新年度がスタートして8月のみ参加が出来ない月もありましたが、無事滞りなく上期を終え、これからは、下期に関しては予算の在り方を厳しくチェックしながら頑張りたいと思います。

(文責：菅原秀之)

第2953回例会告示板 2025年1月17日

出席会員 41名中／25名 60.98%

欠席会員 16名

前回出席率 (1/10) 92.68%

前々回出席率 (12/20) 80.49%

ニコニコBOX 山本光二郎委員長

相澤、阿部(俊)、阿部(智)、太田、大橋、木村(研)、木村(信)、久我、後藤、齊藤(利)、佐々木(孝)、佐々木(至)、佐藤(俊)、佐藤(禎)、鈴木(忠)、高橋(政)、角田、徳増、中川、二宮、松永、松本、柳橋、山下、山内、山本各会員

会長挨拶 佐々木 至会長

みなさん、こんにちは

本日1月17日は阪神淡路大震災から30年目をむかえました。阪神淡路大震災は、1995年1月17日午前5時46分に発災いたしました。深さ16km、マグニチュード7.3のこの地震は、日本で初めての都市直下型地震でした。神戸市、淡路をはじめ莫大な被害をもたらしました。この震災により、地震の規模を示すマグニチュードや震度の正確性をしめすために、多くの機器を日本全国に増やしました。また、高度救命救急の専門分野の創設や様々な法改正がなされ、建物の倒壊や高速道路の崩壊などにより、新耐震基準になりました。災害ボランティアの制定もこの震災からでした。震度7を超える地震は、ここ30年の間に日本全国で7箇所確認されております。災害に対する備えをこの機会にもう一度見直していただければと思います。

最後になりますが、本日夕方に、第三回行動計画推進会議がオンラインで開催されます。当クラブから、クラブアクションチャンピオンの久我会員とガバナー補佐エレクトの阿部会員宜しくお願ひいたします。本日のプログラムは5大奉仕委員長から下期に向けてとお話をいただきます。宜しくお願ひいたします。

本日のプログラム 「下期に向けて」 5大奉仕委員長
阿部智文クラブ奉仕委員長

昨年の家族会の準備や、出席がかなわず大変申し訳な

く、お手伝いいただいた皆様ありがとうございました。

下期も上期に続き、RIのテーマに沿って各員会と連携し、円滑なクラブ運営を図り、例会の出席を促しその他のプログラムの出席を促し、親睦と友情を深め明るく楽しいクラブ運営に努めています。



柳橋哲也社会奉仕委員長

上期の振り返りとしまして、奉仕活動を元気いちは前の堤防清掃を行いました。下期は、みどり園様の利用者様をおよびいたしまして、会員の皆様と楽しくお食事をいたします。下期もご協力よろしくお願ひいたします。



藤原 剛職業奉仕委員長→山下英朗副委員長

上期の職業奉仕委員会の活動実績はございません。その分としまして、下期の職場訪問に一点集中させていただきますのでよろしくお願ひいたします。

下期の活動としましては、2月21日に福島県の東京電力・福島第一原子力発電所を視察・見学をします。放射能被害という目に見えない災害について、また放射能処理水はどのようなもので、どのように処理されているか、今後の廃炉にむけての方法と現在の進歩状況についてなどを聞くことができますので、皆様宜しくお願ひいたします。

木村信広国際奉仕委員長→久我文敏委員

下期に向けてですが、ロータリー財団への寄付と米山記念奨学生の世話クラブとして劉君のカウンセラーとして引き続きお世話をていきます。米山奨学生は4月1日から翌年の3月31日までのお世話となり、ロータリーの年度とずれがあり、カウンセラーは、前年度からの仕

事になります。2月から始まり劉君とは、毎月様々な交流を深めてきました。10月には、奨学生レポートをカウンセラーの所見ということでガバナー事務所へ提出いたしました。3月には劉君の送別会を開いたと思いますので皆様ぜひご出席のほど宜しくお願ひいたします。

佐藤俊之青少年奉仕委員長

青少年奉仕委員会では、12月にこども∞カンパニー様にお邪魔してお代表の田中様から活動内容や子供たちの様子など話を聞いてまいりました。こども∞カンパニーは、震災後不登校の子供たちが集まる場と放課後児童クラブや子供たちが気軽に遊べる場を提供している団体です。今後も引き続き当クラブとしてもお世話をていきたいと思います。



(文責：山下英朗)

第2954回例会告示板

2025年1月31日

出席会員 41名中／25名 60.98%

欠席会員 16名

前回出席率 (1／17) 60.98%

前々回出席率 (1／10) 92.68%

会長挨拶 佐々木 至会長

本日のクラブ協議会、決算報告・事業報告と盛り沢山な内容となっております。不明点や気になるところがあれば幹事へ質問していただければしっかりと対応しますのでよろしくお願ひします。

また、五大奉仕委員長の皆様、下半期の事業計画の発表よろしくお願ひいたします。

クラブ協議会「上半期事業報告・決算報告並びに

下期事業計画・予算について」

(於) 八幡家

新年会

阿部クラブ奉仕委員長に代わり、浅野会員の司会のもと新年会が実施されました。本田直前会長より「残り半期の会長はじめ委員長の皆様の益々ご活躍と、皆様の健康と充実した一年を過ごせる事をご祈念いたします」と乾杯の挨拶がなされました。

新年会にふさわしく季節を感じる和食を堪能しながら、それぞれ親睦を深めながら新しい一年と下半期に向

け英気を養う一夜となりました。中締めは中川エレクトよりの挨拶により、盛会のなか閉会となりました。



(文責：松永有一)

第2955回例会告示板

2025年2月7日

出席会員 41名中／21名 87.80%

欠席会員 5名

事前出席 15名

前回出席率(1／31) 95.12%

前々回出席率(1／17) 92.68%

ゲスト 米山記念奨学生 劉 昊朋さん

会員誕生祝 2／2 松永、2／11 鈴木(紀)、
2／24 國分・松本、2／25 本田 各会員

出席100%表彰 17年 山本会員

結婚祝 2／10 二宮、2／15 藤原 各会員

ニコニコBOX 山本光二郎委員長

相澤、浅野、阿部(俊)、木村(研)、久我、後藤、齊藤(利)、
佐々木(孝)、佐々木(至)、佐藤(俊)、佐藤(禎)、島、
鈴木(忠)、鈴木(紀)、角田、徳増、中川、二宮、日野、
松本、山内 各会員

会長挨拶 佐々木 至会長

皆さん、こんにちは 2月に入って大変寒い日が続いておりますので体調の管理、気を付けてください。

先週の協議会お疲れ様でした。無事協議会も終えることが出来て新年会で美味しいお酒が飲むことが出来ました。

第7回の理事会案を報告出来ておりませんでしたので報告させていただきます。また来週の13日は3RCの

ボーリング大会がプレナミヤギで開催されますので参加者の皆様よろしくお願い致します。

本日のプログラム 会員スピーチ 鈴木紀男会員

「識っていそうで識らない仙台藩 part1」

仙台藩は、伊達政宗が関ヶ原の戦いの後に徳川家康から与えられた62万石の領地として知られていますが実際はそれ以上の石高を有していました。表高と実高の差があり仙台藩の「表高」は62万石ですが、「実高」は85万石あったとされます。この差は23万石にも及びます。この差は幕府も認識していましたが62万石という表高が軍役の基準とされました。軍役とは幕府が反乱や戦争の際に大名に課す兵役のことで石高に応じて兵の数や武器の量が決められていました。仙台藩の場合、実高に近い軍役を課せられると75万石分の軍役を負担する必要がありましたが実際には表高の62万石に基づいていました。この差額については諸説ありますが徳川幕府が仙台藩の貢献を考慮し、特別に軍役負担を軽減した可能性が考えられます。

仙台藩の発展は伊達政宗以降、仙台藩は新田開発や干拓事業を積極的に行い、江戸時代中期には100万石～200万石もの収穫高を上げるようになりました。これは日本でも最大級の領土と米の収穫高を誇る大藩へと成長したことを意味します。石高と藩の財政は、江戸時代の米の消費量は成人一人あたり年間約1石でした。仙台藩の62万石はあくまでも平年作の収穫量を表しており、実際の収穫量は天候によって変動しました。農民は収穫した米を年貢として藩に納め、残りを自らの生活に充てていました。仙台藩は1万石以上の石高を持つ家臣を多数抱えており財政は決して裕福ではありませんでしたが農民は比較的安定した生活を送っていたと言われています。鎌倉時代や室町時代の制度を色濃く残しており他の藩に比べて保守的な傾向がありました。特に石高制度ではなく貫高制度を採用していたことはその特徴の一つですこの制度は農民の財産に制限を設け大金持ちの出現を抑制する役割を果たしていたと考えられます。



(文責：日野雅俊)

出席会員 41名中／18名 43.90%

欠席会員 23名

前回出席率 (2/7) 87.80%

前々回出席率 (1/31) 95.12%

本日のプログラム

職場訪問「福島第一原子力発電所視察」8:45集合

2月21日（金）に開催されました。

「福島第一原子力発電所視察」について報告いたします。

当日は、福島県双葉郡富岡町「東京電力廃炉資料館」8時45分に集合し16名の会員が参加し、天気に恵まれ晴天での視察となりました。

初めに職業奉仕委員藤原委員長の挨拶と説明後に当日お世話になる東京電力ホールディング（TEPCO）大橋様より「東京電力廃炉資料館」ゾーン2「記憶と記録・反省と教訓」（2階）にあるシアターホールに案内され「地震発生から原子力事故とその対応」を約40分視聴しました。映像の内容は福島原発事故がどのように発生したのか15mの津波の状況や原子炉の被災状況等、原子力事故を考えさせられるものでした。視聴後、「東京電力廃炉資料館」からバスで「福島第一原子力発電所」へ向かいました。発電所へ向かうバスの中では、TEPCO小林様より発電所被災当時の近隣状況や現在の状況の説明をいただき、車窓より目の当たりにするものがリンクし厳しい状況を考えさせられました。

又、道路脇に線量計も設置され当日は、1.173マイクロシーベルトと確認することもできました。

発電所に到着後は、白石所長様の挨拶をいただき、TEPCO大橋様より「原子力発電所の概要」や入所の手続きの説明をいただきました。

入所については、テロ対策等のため厳しい持ち込み検査があり、検査終了後も一人一人「線量計」を渡され入所となりました。

いよいよ視察（バスでの視察、バスにも線量計が設置）ですが、視察ルートは①海洋生物飼育試験施設（降車）処理水でのヒラメの飼育試験②1～4号機原子炉建屋（ブルーデッキにて降車見学、バスの放射線量は40マイクロシーベルト、原子炉建屋まで80m）

③既設 多核種除去設備（既設ALPS（※処理水）

④増設 多核種除去設備（増設ALPS）

⑤高性能多核種除去設備（高性能ALPS）

⑥K4タンクエリア

⑦5～6号機原子炉建屋（グリーンデッキで降車見学）

ALPS処理について説明を受ける

⑧海側設備府瞰、⑨乾式キャスク仮保管設備

最後に管理等に到着後、ALPS処理水サンプル現物の説明を受け視察が終了となり、渡された線量計の返却時確認説明を受け全員が約0.01マイクロシーベルトと確認

約80分の視察が終了しました。

最後になりますが廃炉作業には約30～40年続く見込みで作業員数は平日1日あたり約4,300人で内約70%が福島県の方々だそうです。

処理水対策については、2023年8月24日の放出開始以降2023年度に4回放出（約31,145m³）を完了し海域モニタリングにおいても有意な変動は確認されていないとのことです。

私たち身边にも「女川原子力発電所」があります。

今回参加できなかった会員の皆様も機会があれば是非視察いただければと思います。

原子力事故の事実と廃炉事業の現実を確認できる場として。



（文責：佐藤禎久）

●会報委員●

後藤嘉則 菅原秀之
山下英朗 松永有一
日野雅俊 佐藤禎久
佐藤大介 太田清

◆例会場：石巻グランドホテル TEL (0225) 93-8111

◆例会日時：毎週金曜日 12:30～13:30

◆事務所：石巻市中央二丁目1-16 中央ビル23号

TEL (0225) 95-3773 FAX (0225) 95-4242

E-mail rotary@hop.ocn.ne.jp